

平成27年度 総務委員会の事業計画

1. 活動方針

ばね産業の主要な需要産業である自動車産業は海外での生産が国内の1.8倍に達しており、当工業会会員企業にとっても海外の状況は経営判断に欠かせないものとなっている。一方では世界経済のグローバル化が進んだことにより各国・各地域で取引上の問題が出てきており、ばね業界にもその影響がゼロでは無いと思われる。このため、当工業会においても規程類の見直しを含め、コンプライアンスについて真剣に討議し、提案していきたい。

このような状況の下、当委員会としては所管する会員相互の交流、情報交換等を推進すると共に、海外視察を含む国際交流を活発に行い、実りある事業を展開していくことで、当工業会全体の年度方針着実な実行に貢献するため、各委員会ならびに各支部総務委員会と協力してその職責を果たすため事業に取り組んで行く。

2. 活動の詳細

2.1 一般社団法人移行後の取り組みについて

平成24年4月の一般社団法人へ移行し、三ヶ年計画で実施した公益目的支出計画は計画通り昨年度をもって完了した。今後は自主運営移行の機会を捉え、ばねの事業者団体としてばね産業の進むべき方向、それを実現するために一般法人として取り組むべき事業の在り方および団体運営の在り方を取り纏め理事会へ提言する。

コンプライアンス啓発活動として、独占禁止法等について周知を図るため支部にも協力を求めていく。

2.2 委員会開催について

委員会は4回とし、下記の日程で開催する。

平成27年5月13日(水) 東京
7月8日(水) 名古屋
12月9日(水) 大阪
平成28年2月24日(水) 東京

2.3 国際交流事業について

2.3.1 中国ばね標準化委員会主催中国ばね新技術・新製品展示会への参加について

5月28日(木)に中国・無錫で開催される会議に参加し、要請されている技術講演を行い、交流を深める。

2.3.2 欧州ばね工業会連合会(E S F)主催国際ばね会議への参加について

9月25日(金)にチェコ・プラハで開催される会議に参加し、我が国ばね産業の現況を報告するとともに、参加各国との情報交換を行う。

2.3.3 米国ばね工業会(S M I)主催のS M I Metal Engineering Expoへの参加について

10月19日(月)～22日(木)に米国・ノスカロワ付(シャーロット)で開催される会議に参加し、我が国ばね産業の現況を報告するとともに、参加各国との情報交換を行う。

2.3.4 海外視察団の派遣について

本年度も実施すること年、視察先、実施時期については委員会で審議し決定する。

2.4 統計事業

2.4.1 ばねの生産、輸出入に関する統計を確実に実施し、速やかに機関誌およびホームページ等での公表に努める。

2.4.2 会員の海外事業概況調査を7月頃に実施する。

前々回（平成25年7月）から概況調査を実施しており、本年度も継続して実施する。

調査結果の概要を機関誌およびホームページで公表する。

詳細調査は4年又は5年に1回の頻度で実施する。

2.5 広報活動

(1)機関誌ばねを例年通り隔月6回発行するとともに、発行後速やかにホームページに掲載する。

(2)ホームページの充実を図るべく、各委員会事務局および支部事務局へ指導・要請する。

(3)日本ばね工業会プロフィール2015（日文・英文併記）を改訂発行する。

(4)会員への広報活動の充実のため、実施事業について支部毎に説明会を開催し、広報に努める。

(5)本年度の各種展示会等への共催・後援・協賛名義貸与及び出展

➤ テクノフロンティア2015 （一社）日本能率協会主催 5月20日(水)～22日(金)

➤ MF-Tokyo2015（出展） （一社）日本鍛圧機械工業会主催 7月15日(水)～18日(土)

➤ 第1回ばね技術国際会議 日本ばね学会 11月17日(火)

➤ Wire/Tube Southeast ASIA 2015（後援） 9月16日(水)～18日(金)

➤ 第44回東京モーターショー2015 （一社）日本自動車工業会 10月29日(木)～11月8日(日)

2.6 創立70周年への準備について

日本ばね工業会は昭和23年(1948)3月25日を創立の日としており、本年度は68年目となる。来たる創立70周年(平成30年3月)に向けた検討を始める。